

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年11月13日

計画の名称	盛岡市における賑わい拠点づくり												
計画の期間	平成31年度 ~ 平成31年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	盛岡市												
計画の目標	<p>木伏緑地は、昔から都市が形成されている市街地のなかにあり、盛岡駅から200m～300m離れた北上川沿いにある。</p> <p>近年、北上川等を中心とした新たな賑わい創出の一つとして、国、市及び市民が連携して舟運（盛岡地区かわまちづくり）の事業化に向けて取り組んでおり、その船着場としての機能が期待されている都市緑地である。</p> <p>官民が連携して特定公園施設とカフェ等民間収益施設を整備し、新たな賑わい拠点空間を創出することで、同緑地のイベント開催を増やし、相乗効果により利用者の増加が見込まれる。</p> <p>また、分断されている3つのエリア（駅前商店街、大通商店街及び材木町商店街）を結ぶハブとなることで新たなエリア価値の向上が見込まれる。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	29	A	29	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	木伏緑地におけるイベント開催数を4回/年（H29）から6回/年（H32）に増加 年間におけるイベント開催数を算出。公園管理者への使用許可を得て、市民等を対象としたイベントとする。	4回/年	回/年	6回/年
2	木伏緑地の公園利用者数を 547人/日（H30）から 700人/日（H32）に増加 公園利用者を算出(平日と休日の平均)。	547人/日	人/日	700人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	H32	H33	H34	H35			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	官民連携賑わい拠点創出 事業(木伏緑地)	特定公園施設:便所(一式)	盛岡市						29	-	
												小計						29	
												合計						29	

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 盛岡市における賑わい拠点づくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が盛岡市総合計画に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 計画の目標が盛岡市緑の基本計画に適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標が計画の目標に適合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標と定量的指標・定量的指標の目標値の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・定量的指標の目標値と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 計画の目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 定量的指標・定量的指標の目標値が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標に対して十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○